

皆さんの支援ありがとうございました 東日本大震災10年の復興支援活動に感謝

東日本大震災から10年。震災発生時から団体、企業、個人の皆さんが、その時できる支援を行動に起こし、沿岸の復興を後押ししてきました。

これまでの皆さんの復興支援活動に感謝の意を表し、「きたかみ復興支援協働体」の構成団体など市と協働で復興に取り組んできた6団体へ、3月8日、感謝状を贈呈しました。

6団体の他にも、多くのボランティア活動などを通してさまざまなつながりが生まれ、多様な支援活動を展開することができました。皆さんの支援、ありがとうございました。



■問い合わせ
感謝状贈呈に関すること…政策企画課 ☎72-82233
復興支援に関すること…福祉課 ☎72-8213

団体名	復興支援活動内容
NPO法人いわてNPO-NETサポート	沿岸被災自治体への支援、市民の復興活動支援
NPO法人いわて連携復興センター	被災者・避難者支援、各団体をつなぐ支援ほか
黒沢尻北地区自治振興協議会	沿岸避難者のコミュニティ支援ほか
社会福祉法人 北上市社会福祉協議会	避難者の見守り活動ほか
北上ネットワーク・フォーラム	沿岸被災企業への支援ほか
NPO法人フォルダ	全国各地からのボランティア活動支援ほか

写真で振り返るさまざまな支援活動



北上ネットワーク・フォーラムは工具類を集めて沿岸企業へ(2011. 6. 13)



防災の日(9月1日)、きたかみ震災復興ステーション開設(2011. 9. 1)



復興ステーションでは同郷同士が集まる「ふるさとカフェ」が開かれた

東日本大震災支援活動の記録 公開中

震災の年から3年間の、市が取り組んできた復興支援活動や多くのボランティア活動などをまとめた記録誌を、市のホームページで公開しています。



活動記録誌

また、広報きたかみバックナンバーでも関連の特集をご覧ください。(平成23年3月25日号、平成24年3月9日号)



広報きたかみ

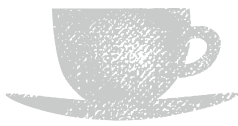


避難者を多く受け入れた黒沢尻北地区は「絆農園」で一緒に野菜を育てた



NPO法人フォルダは流しそうめんなどのイベントも企画して避難者と交流

珈琲 ブレイク



北上市長

高橋敏彦

No.108

深読み「展勝地誕生」

大正10年(1921年)5月21日、陣ヶ丘において展勝地開園記念式典が盛大に開かれた。それから100年。今ではシーズン40万人を越す観光客が訪れる、東北有数の桜の景勝地となっている。展勝地誕生には黒沢尻町長も務めた沢幸さん(沢藤幸治氏)が大きく関わっていたことは、多くの市民が知っている。彼はなぜ、このような壮大な計画を思い付き、実現させたのであろうか。

沢幸さんは明治14年(1881年)、町分に生まれた。珊瑚橋が開通したのが明治41年(1908年)であるから、それまでは黒沢尻町の人々にとって、対岸は別世界だったに違いない。広い^{あしほら}葦原と崖上の松林のコントラストは、極楽浄土を連想させる風景だったのではないだろうか。さらにその奥には、かつて仏教文化の聖地であった国見山極楽寺が控えていたわけであるから、なおさらである。

沢幸さんは32歳から東京、大阪と拠点を移しながら、ジャーナリズムの世界を通して日本や世界を知り、同時に北上川対岸の風景が他に類を見ない景勝地であるという確信を育んだのではないだろうか。以後、36歳ころから展勝地構想実現に向けて奔走し、40歳で開園にこぎ着ける。開園を急いだ訳は、大正13年(1924年)の横黒線(現JR北上線)全線開通が視野に入っていたからだろう。

沢幸さんが黒沢尻町長になったのは、展勝地開園から13年後の53歳の時であり、わずか3年務めた後、56歳で岩手県議会議員になっている。そして3年後の昭和14年(1939年)に、岩手県立黒沢尻工業高校が開校しているのである。ちなみに、沢幸さんの後に町長になったのが、伊藤彬前市長の祖父である伊藤治郎助氏であり、二人が示し合わせて北上市への工業高校誘致を実現させた可能性も推測できる。このような先人たちの奮闘によって今の北上市の繁栄があることを、ぜひ心に刻んでおきたいものである。

きたかみ地域農業マスタープランの更新

地域農業の将来像をまとめた計画を見直しました

地域農業マスタープランは、地域農業のあり方について定めた計画です。

地域農業の中心となる経営体や、将来の農地利用などをまとめています。

同プランの内容は、地域の話し合いにより作成します。農業者や農業関係者、地区の代表者が、各地区の課題や集約化に関する方針など、今後目指すべき地域の方向性について議論していきます。市内では13地区で策定されており、このたび更新されました(2月現

在で14回目の更新)。

同プランは、市農業振興課、JAIわて花巻(北上地域営農グループ、江釣子支店、営農センター北西部)で閲覧することができます。また更新された内容のうち、「各地区の中心経営体数」「地区の課題」「農地の集約化に関する方針」などは、市のホームページにも掲載しています。

■問い合わせ：農業振興課
☎72-8239



北上第2運動場夜間照明施設の利用開始

4月1日から利用可能です

北上総合運動公園の第2運動場は、天候に左右されにくい人工芝です。このたび、夜間照明を設置したことから、利用者の利便性がさらに高まりました。

また、全面・半面点灯ができるため、使用方法に合わせて利用できます。

■夜間照明使用料：全面2000円、半面1000円(運動場使用料は別途)

※利用時には、北上総合体育館で夜間照明点灯用の「コイン」を「購入ください。

■変更後の運動場利用時間
：18時から21時まで
■問い合わせ
：スポーツ推進課 ☎72-8313



市の施策に対する市民の満足度や重要度を伺いました 令和2年度市民意識調査の結果を公表

市民意識調査は、市の施策について、市民の皆さんが感じている満足度と、力を入れてほしい施策の重要度などを定期的に把握するもので、今後の方向性を検討する基礎資料として活用しています。また、行政評価や事業企画などに活用し、行政サービスの改善につなげていきます。

調査は2年に一度実施し、今回で8回目です。
■問い合わせ：政策企画課 ☎72-8229

調査の概要

- 調査期間 令和2年9月19日～10月16日
 調査対象 16歳以上の市内在住者1,300人(無作為抽出)
 調査方法 調査票と回答依頼リーフレットを対象者に郵送。回答者は調査票に直接書きこんで郵送するか、インターネット上のフォームに入力して回答する。
 回収結果 827票 回答率 63.6% **回答率は過去最高**
 調査内容 ①施策ごとの満足度・重要度・優先度
 ②施策の成果指標として定点観測する設問
 ③合併30周年に係る市民意識
 ④市政に対する総合的な満足度



※本調査の結果は市のホームページに掲載しているほか、市役所3庁舎(本庁舎、江釣子庁舎、和賀庁舎)、各地区交流センターに配架していますので、ぜひご覧ください。



■市の施策とは

市が進むべき方向性を示す重要な計画を「北上市総合計画」として定めています。この計画では、「子育て」「商工観光」「道路維持」「地域づくり」など、27のジャンルに分けて目標を定めています。

市民意識調査では、これらを「基本施策」とし、それぞれの満足度や重要度を評価いただいています。なお、本来は27分野ですが、一部回答がしやすいように細分化し、全部で31分野についてお伺いしています。

1 施策の満足度・重要度

31の施策について、それぞれ満足度と重要度を6段階で評価いただきました。左表はその平均点の上位・下位の3位までを記載しています。

満足度では「情報ネットワーク」「公共交通」「土地利用」といったインフラに関する施策の満足度が低くなっています。【表①】

重要度では「子育て環境」や「高齢者・障がい者福祉」「健康・医療」といった福祉分野が上位となりました。

一方で、「市民・企業・行政の協働」「市民主体のまちづくり」といった、多

■表① 平均満足度(6点満点)の順位(上位・下位)

順位	上位		下位	
	1位	健康・医療	4.29	情報ネットワーク
2位	災害対策	4.16	公共交通	3.58
3位	学校教育	4.10	土地利用	3.71

■表② 平均重要度(6点満点)の順位(上位・下位)

順位	上位		下位	
	1位	子育て環境	5.13	市民・企業・行政の協働
2位	高齢者・障がい者福祉	5.12	市民主体のまちづくり	4.20
3位	健康・医療	5.09	情報ネットワーク	4.22

「満足度」はインフラの施策に課題
 「重要度」は福祉分野が上位へ
 下位は前回同様の施策が並ぶ結果に

様な主体の連携によるまちづくりを進める市政運営の「しくみ」の施策は下位となっています。【表②】

2 市政全般の総合満足度

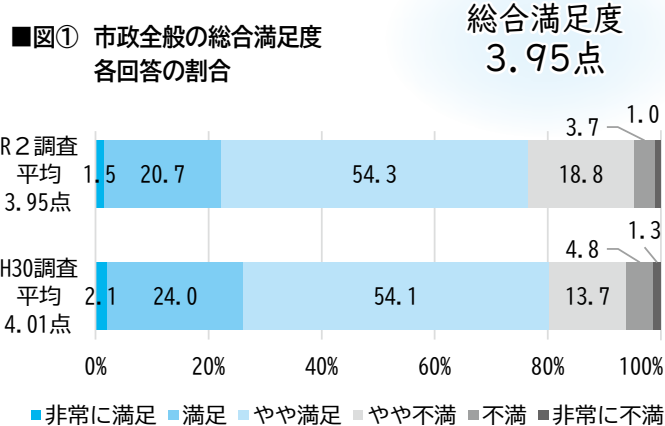
市政全般の総合満足度について、6段階で評価いただきました。今回調査の平均点は、6点満点中3.95点でした。

各回答の割合をみると、市政に満足と回答した人(非常に満足、満足、やや満足)は合わせて70.5%と、高い割合で肯定的な回答となりました。【7ページ図①】

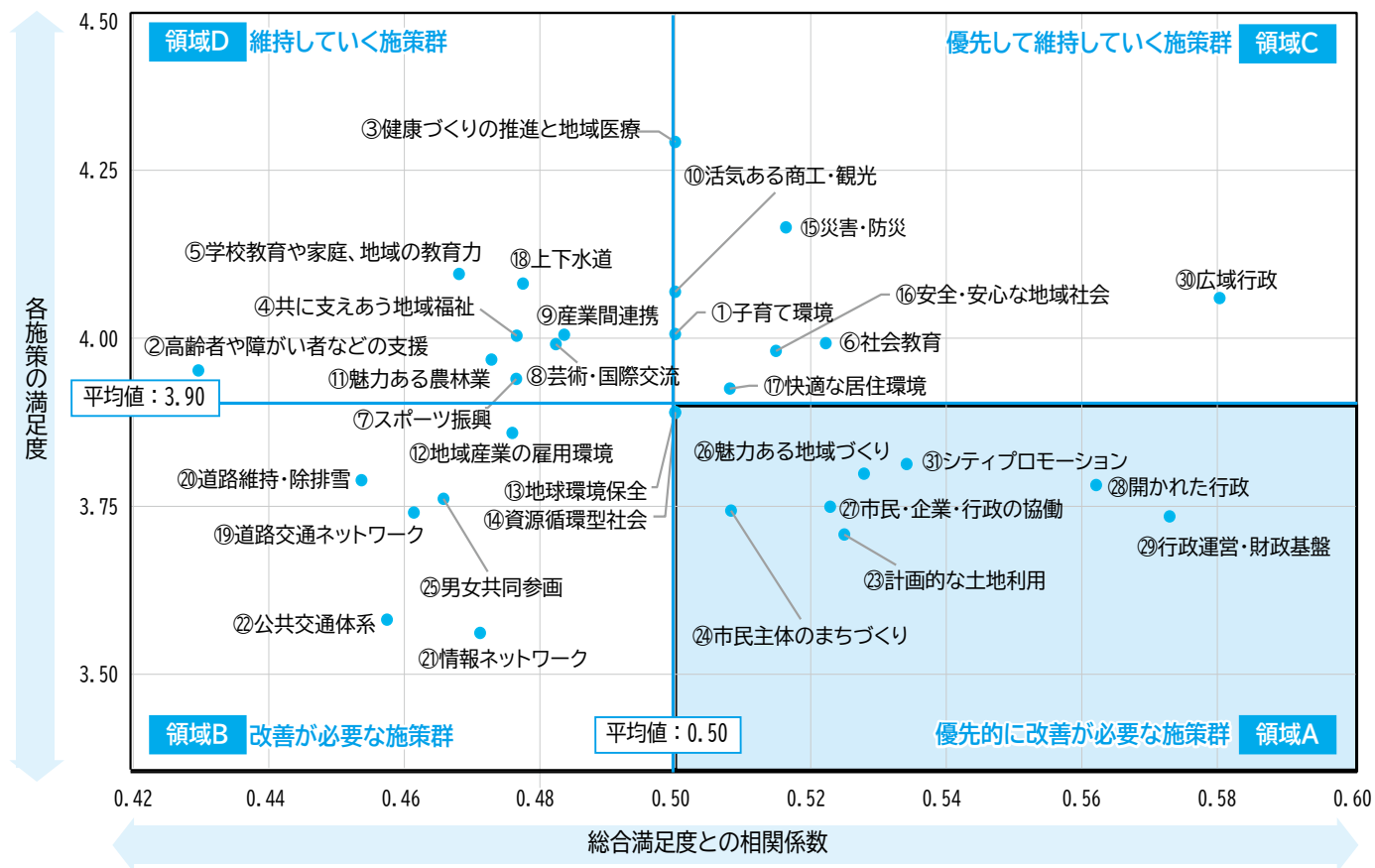
各施策の満足度が総合満足度に与える影響を相関係数により分析し、下図の4領域に分類しました。【図②】相関係数が1・0に近づくほど、総合満足度に与える影響が強くなります。領域Aの施策の満足度が上がれば、総合満足度がより効果的に改善すると考えられます。

領域Aには、重要度が低いと評価された「市民・企業・行政の協働」「市民主体のまちづくり」(6ページ表②)などが属しています。これらの改善が、総合満足度の向上の鍵と考えられます。

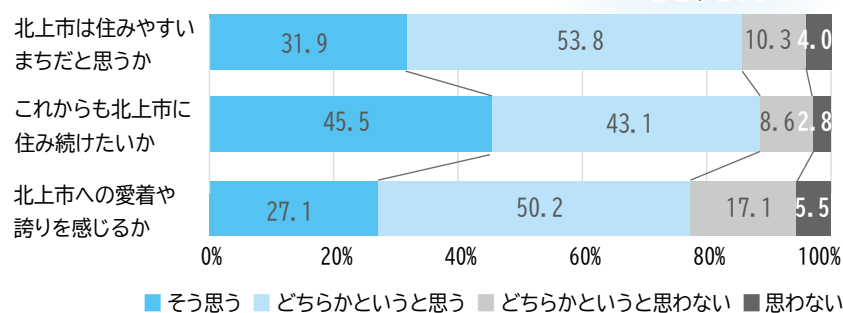
3 施策の改善の分析



■図② 施策の改善の分析



■図③ 北上市の住みやすさに関する各回答の割合



「北上市の住みやすさ」に関する質問では、肯定的な回答の割合が高いと言えますが、「北上市への愛着や誇りを感じるか」の肯定割合は少し低くなっています。「住みやすいまち」としての北上市の強みを生かしながら、新たな魅力の創出や情報発信力の強化が求められていると言えます。

おまけ
市民の感じる
「北上市の住みやすさ」は？